

CatalTo2017 受賞カタログ一覧

賞の名称	書名(副題を含む)	キャッチフレーズ	開催間および開催期間(巡回情報を含む)	企画・編集担当	発行元	デザイン・装幀	印刷所	200字選評
デザイン賞	六本木開館10周年記念展 国宝《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》修理後初公開 『神の宝の玉手箱』	読んで、観て、触れて。カタログで味わう美しい手箱の喜び	サントリー美術館(2017. 5. 31~7. 17)	佐々木康之, 柴橋大典, 安河内幸絵	サントリー美術館、読売新聞	高岡健太郎(日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社)	日本写真印刷株式会社	《浮線綾螺鈿蒔絵手箱》の文様が全面に施されたカタログの装幀に、大変魅了されました。装幀の紙に美しい光沢と独特の肌触りがあり、折に触れて手に取りたくなるような魅力があります。さらに表紙を左右に開いてから本文を読むという仕様はきわめて個性的でありながら、手箱の蓋を取る動作を想起させます。言うまでもありませんが、収録された作品画像と充実した解説の水差もきわめて高いといえるでしょう。手箱に触れる喜びや愉しみ、カタログを手取る喜びに重ね合わされて再現されており、「見事」の一言に尽きます。読んで、観て、触れて、美しい蒔絵手箱の世界を堪能することができる一冊です。
学術賞	『狩谷椋斎墓碑受贈記念 狩谷椋斎—学業とその人』	学術研究をリードする一冊 近世考証学者の墓碑から拓かれる領野	早稲田大学倉津ハル一記念博物館(2017. 11. 28~2018. 1. 20)	早稲田大学倉津ハル一記念博物館 徳泉 さら	早稲田大学倉津ハル一記念博物館	伊藤滋章	能登印刷株式会社	近世後期、古碑や古典の考証において名を成した狩谷椋斎は、与謝野鉄幹らによって全集が編まれるなど、近代の古典受容にもつながる重要な人物ですが、盛んに研究されてきたわけではありません。墓碑の寄贈を機に制作された本カタログは、椋斎及び関連人物に関する複数の学術論文と、充実した参考文献を一覧で収めるだけでなく、拓本や書物など文字資料中心の図版を、文字を読むのに適切な大きさ、かつカラーで掲載した上で、それぞれに釈文をつけており、研究上の使用に耐えるものとなっています。多方面に展開しうる椋斎研究の出発点となることが期待される、学術研究をリードする一冊です。
クロスジャンル賞	『自転車世紀展(THE CENTURY OF BICYCLE)』	自転車に導かれてクロスジャンルの世界へ！！	2017.7.22~9.24 郡山市立美術館(*巡回:2017.4.9~8.4 茅ヶ崎市美術館、2017.10.28~12.17 佐倉市立美術館)	郡山市立美術館(佐藤秀彦・菅野洋人・富岡進一)、茅ヶ崎市美術館(森川悠)、佐倉市立美術館(永山智子)、株式会社プレラントラスト(土井玲子)	自転車世紀展事務局(株式会社プレラントラスト内)	星昌弘(ホンマサヒロデザイン事務所)	株式会社坂本印刷所	「自転車」という誰にとっても身近な乗り物を基礎として、美術、漫画、写真、生活文化、テクノロジー、環境問題へと、様々なジャンルに読者を誘ってられる一冊です。先に示した一つ一つのジャンルと自転車の繋がりを丁寧に紹介していく内容構成、大人から子供まで楽しむことができるレイアウトと文章、そして巻末に収録された自転車の歴史など、このカタログが持つ魅力が読者の好奇心を刺激してくれます。これから先、自転車という文化がさらに多様なジャンルを巻き込みながら発展していくことを予感させるカタログとなっています。
オリンピック文化プログラム賞	『特別企画 メダルの魅力』	ど真ん中の企画力！ 日本彫刻界の知られざる側面に迫る	小平市平橋田中彫刻美術館(2017. 9. 13~11. 12)	藤井明・篠崎未来	小平市平橋田中彫刻美術館	(表紙デザイン)平岡敦子	株式会社アトミ	2020年のオリンピックに向けて、美術館博物館でも文化プログラムが展開されることが期待されていますが、2018年現在では残念なことにまだ、さほどの成果が上がっていないように思われます。しかし平橋田中彫刻美術館は、このプロジェクトに真正銘の企画力で向き合っています。本展では個人コレクターの所蔵品を中心に、明治から昭和期にわたるスポーツ、コンテスト、戦争やその他の目的で鑄造されたメダルを150点も紹介されています。カタログはわずか十数頁のリーフレット形式ですが、図版印刷が鮮明で、よくその魅力を伝えてくれており楽しく鑑賞できます。メダル彫刻は西洋では18世紀まで遡る深い歴史と芸術性をもったジャンルですが、日本ではなかなか認知されてきませんでした。その最初期にメダル彫刻の価値に気づき、畑正吉や水谷鉄也などの制作家を経て美術史家・岩村透原家の『賞美章』(cat.no.124)が出品されたことも驚異的でした！
文学展賞	『開館記念5周年記念 特別展 明治文壇観測—蘭外と慶応3年生まれの文人たち』	カタログにして、今後の蘭外研究必携の書	文京区立森鷗外記念館(2017. 10. 7~2018. 1. 8)	株式会社丹青社、文京区立森鷗外記念館	文京区立森鷗外記念館	杉本さゆり	モリモト印刷	文芸雑誌『めさし草』における蘭外と文人たちとの交流という、これまでの蘭外研究では開却されていた着眼点に基づく、オリジナリティあふれる展覧会カタログです。初めて翻刻された資料や、文学界の動きおよび蘭外と文人たちの動きがわかりやすく整理された『明治文壇観測的年表』、『めさし草』誌上で批評された作品の書誌情報がまとめられた『めさし草』収録 批評作品一覧も収録され、カタログでありながら蘭外研究の最先端ともいえる一冊となっています。

賞の名称	書名(副題を含む)	キャッチフレーズ	開催期および開催期間(巡回情報を含む)	企画・編集担当	発行元	デザイン・装幀	印刷所	200字選評
手のぬくもり・こだわり賞	『世界を変える美しい本ーインド・タラブックスの挑戦』	出版のフロンティアはこんなにも美しい。	板橋区立美術館(2017.11.25~2018.1.8) 刈谷市美術館(2018.4.21~2018.6.3)	草刈大介・大久保美夏(ブルーシーブ)、松岡希代子・高木佳子(板橋区立美術館)	ブルーシーブ株式会社	(タイトルデザイン)セキユリヲ (ブックデザイン)守屋史代(ea)	東京印書館	南インドの小さな出版社、タラブックス。手漉きの紙に手刷りし、針と糸で綴じる工芸品のような絵本で知られますが、他にもインド社会の多様性を表現する多彩な出版物を手掛けています。少数民族や女性の技能を掘り上げ、話し合いを重ねながら本をつくり、正当な対価を支払うことで、よりよい世界を目指すタラブックスの挑戦。カタログに掲載された写真からは、工場の作業風景や街の様子も垣間見られます。絵本を持つ「手」は、職人の手仕事、そしてページをめくる私たちの手つきを連想させます。世界に働きかける本の力を感じてみてください。
一般にオススメで賞	『ヨーロッパの木の玩具(おもちゃ)展ードイツ・スイス、北欧を中心に』	まるでおもちゃ箱をひっくり返したような！ 「遊び」心にあふれた1冊	目黒区美術館(2017.7.8~9.3)	加藤絵美、降旗千賀子	(公財)目黒区芸術文化振興財団 目黒区美術館	大森裕二[オオモリデザインオフィス]	精文堂印刷株式会社	カタログを開いてみて下さい。色とりどりの木製玩具が見開きいっばいに目に飛び込んできます。紙上に鮮やかに印刷された玩具は、時には真や偽をはみ出し、静止画像であっても目の前で玩具を触っているような感覚を見る者に与えます。自由で魅力的なレイアウトでありながら、ドイツ・エルトツ地方の主要工房や制作技法、玩具の歴史やそれぞれの玩具の特徴まで、様々な角度からの厚みのある解説も兼ね備えた本カタログは、手に取りやすい薄さで、幅広い世代に向けて、ヨーロッパの木の玩具の魅力と豊かな世界を余すところなく伝えてくれます。
国際交流賞	『シルクロード特別企画展 素心伝心 クローン文化財失われた刻の再生』	伝承される赤子の心 ー超絶レベルの復元技術が蘇らせたシルクロード	東京藝術大学大学美術館(2017.9.23~10.26)	東京藝術大学COI拠点・ユーラシア文化交流センター・アートイノベーションセンター	東京藝術大学シルクロード特別企画展実行委員会	(カバーデザイン)村上雅士・柴田萌[m] (本文デザイン)阿部文香	株式会社サンエムカラー	危機に晒されている国の境界を越えた人類文明の重宝を復元するには、緻密な検証研究に、高度な三次元測量と科学分析の技術を加えた長時間の作業、膨大な仕事が行われました。その成果としての展覧会は、視覚のみならず、聴覚と嗅覚における愉悅をも齎します。これはもはや文化財のクローンだけでなく、現代人類の新たな作品であり、今に伸び続けてきたシルクロードのあり方でもあります。さらに、復元作品の一部は故国に「帰還」する予定なので、国際の文化交流にとっても大きな貢献となるこのあとプロジェクトに尽力した関係者の方々の「素心」に感心してやみません。
カタログを持って、出かけま賞 with 漱石	『夏目漱石生誕150年特別展 漱石からの手紙 漱石への手紙』	漱石のこころを読み取れる、手紙という名の鍵。	鎌倉文学館(2017.4.22~7.9)	小田島一弘・山田雅子・榎本雅子・齋木菜津美	鎌倉文学館指定管理者鎌倉市芸術文化振興財団・国際ビルサービス共同事業体	株式会社RAP ラ・デザイン	株式会社RAPラ・デザイン	「手紙」というテーマを軸に、夏目漱石の人となりやその人脈が分かるカタログです。可愛い見た目に反して、内容は意外とボリューム。手紙の図版の下には、重要な部分の内容が分かりやすいように丁寧に入力し直してかれているのも嬉しいですね。巻末に鎌倉周辺の漱石ゆかりの地を示した地図が載っていて、カタログ自体も持ち出しやすいサイズ感なので、鎌倉に尋ねた際はカバンに入れて散歩をするのもいいでしょう。